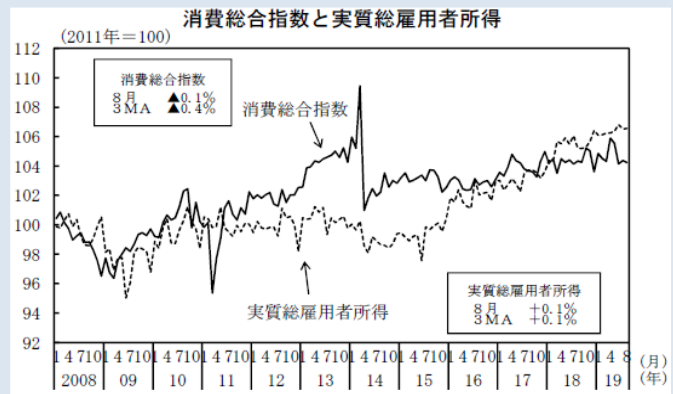


今月の経済動向 (2019年10月)

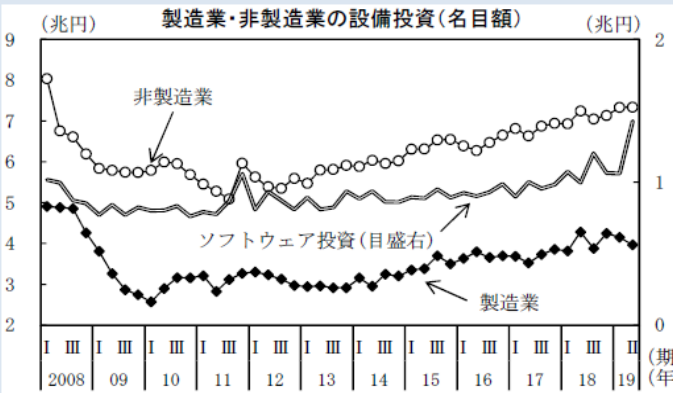
● 月例経済報告 (10/18)

基調判断	(10月) 景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。また、令和元年台風第19号など相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある。
	(9月) 景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

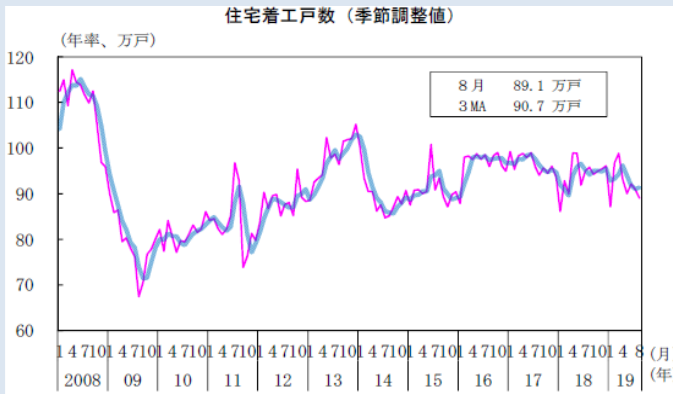
個人消費	(10月) 持ち直している。
	(9月) 持ち直している。



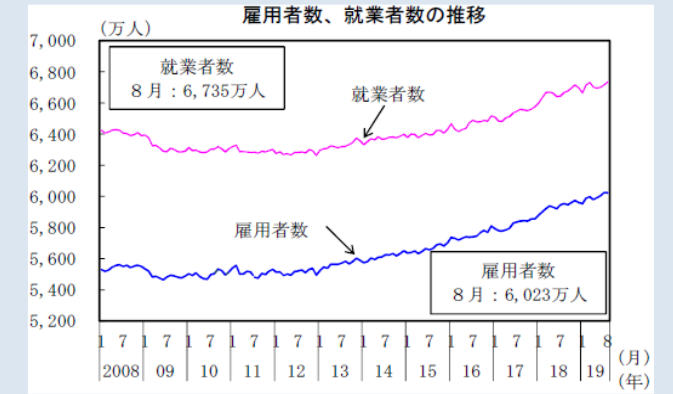
設備投資	(10月) 機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。
	(9月) 機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。



住宅建設	(10月) このところ弱含んでいる。
	(9月) このところ弱含んでいる。

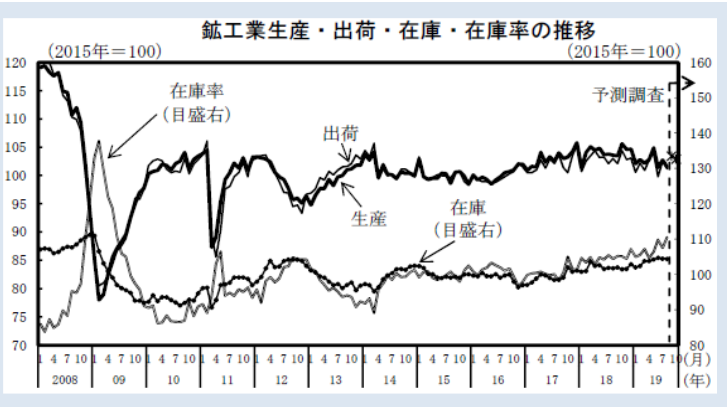


雇用情勢	(10月) 着実に改善している。
	(9月) 着実に改善している。



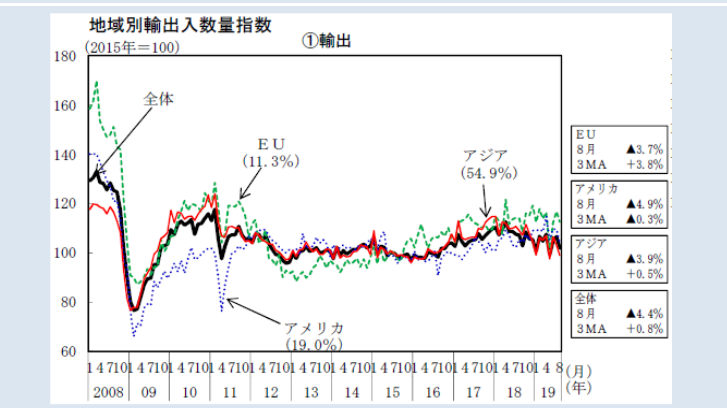
生産 (10月) このところ弱含んでいる。

(9月) 横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。



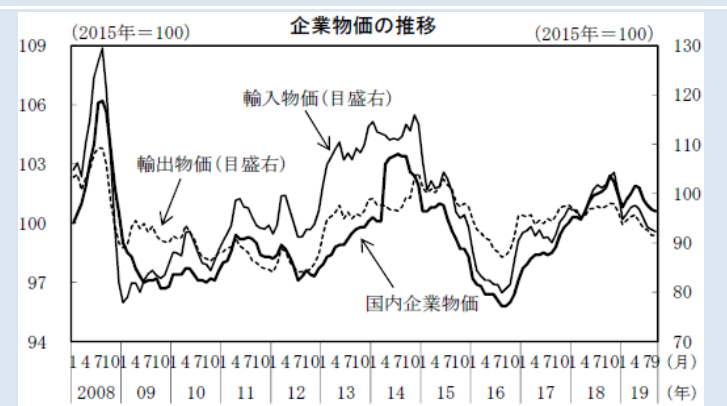
輸出 (10月) 弱含んでいる。

(9月) 弱含んでいる。



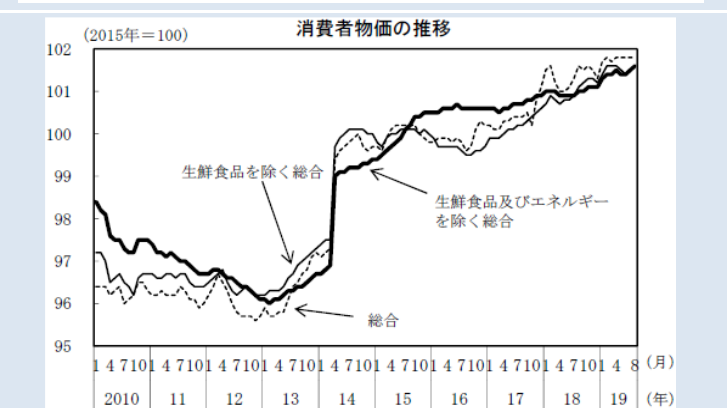
国内企業物価 (10月) 緩やかに下落している。

(9月) このところ緩やかに下落している。



消費者物価 (10月) このところ上昇テンポが鈍化している。

(9月) このところ緩やかに上昇している。



海外経済 (10月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

(9月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

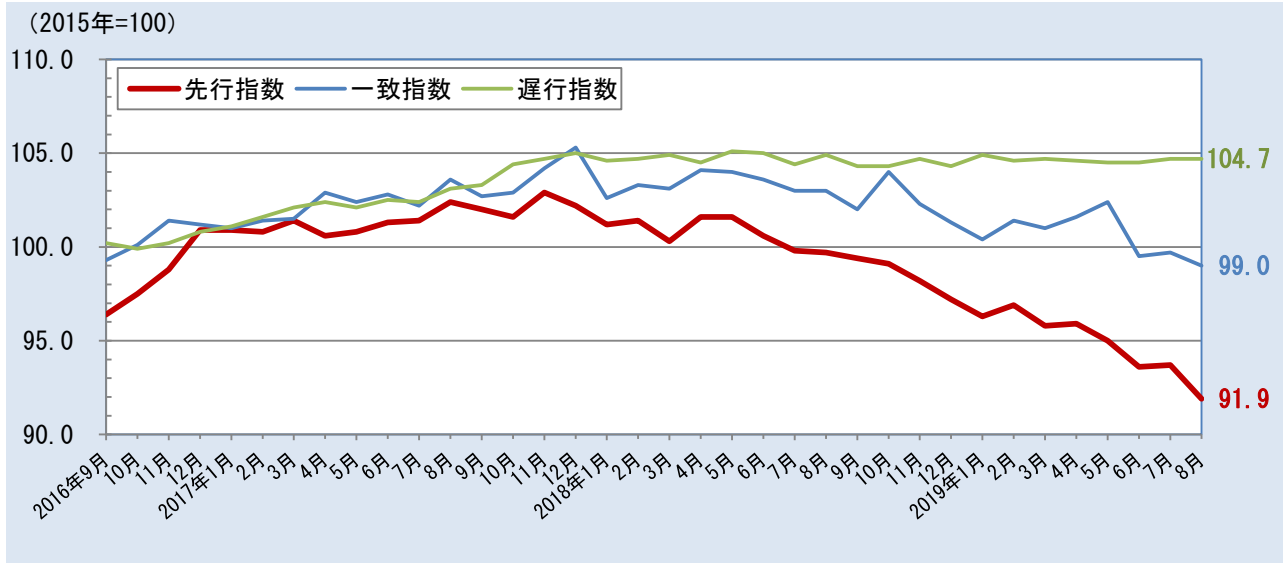
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（2019年8月・改訂値）

2019年8月のCI一致指数（改訂値）は前月より0.7ポイント低い99.0ポイントとなり、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は前月より1.13ポイント低い99.4ポイントとなり、3か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.20ポイント低い100.7ポイントとなり、10か月連続の下降となった。

CI先行指数は前月より1.8ポイント低い91.9ポイント、遅行指数は前月より0.0ポイント高い104.7ポイントとなった。

景気の基調判断（CI一致指数）は、「悪化を示している」に下方修正した。



[景気動向指数：内閣府](#)